

「医療機関および社会福祉施設の事業継続計画（BCP）ワークショップ」を開催しました（2018/10/25）

テーマ：熊本地震、病院、社会福祉施設、事業継続計画（BCP）

場所：地方経済総合研究所（熊本県熊本市中央区）

URL：<http://www.maruya-laboratory.jp/bcm-bcp-advice?>

2018年10月25日(木)9時から16時まで、東北大学災害科学国際研究所 丸谷研究室と熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 藤見研究室の共同主催、公益財団法人地方経済総合研究所の協力により、「医療機関および社会福祉施設の事業継続計画（BCP）ワークショップ」を、熊本市の地方経済総合研究所2階会議室で開催しました。本ワークショップは、当研究所の他大学等との共同研究助成制度を活用したものです。また、参加者の募集について、熊本県庁のご協力を得ました。

当日は、熊本の病院や社会福祉施設の23団体から31名の方にご参加いただき、当研究所の丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門）、熊本大学病院の前田ひとみ教授、当研究所の佐々木宏之助教（災害医学研究部門）、寅屋敷哲也助教（人間・社会対応研究部門）の4名が講師として、講演及びグループ討議を行いました。

開催にあたり、丸谷教授が挨拶・趣旨説明を行い、続いて、「事業継続計画（BCP）の基礎」の講義を行いました。次に、前田教授に「病院の防災・事業継続の備えの実態と課題」と題して講演をお願いしました。その後、5班に分かれて自組織の取組状況などについてグループで情報交換を行いました。昼食を挟み、午後は、佐々木助教が「東北大学病院におけるBCP策定と改訂」について講演し、続いて、丸谷教授が「無理なく事業継続を高める方策」の講義を行いました。その後、事業継続に必要なポイントについて、参加者の熊本地震での経験も踏まえてグループ討議を行い、活発なディスカッションが行われました。なお、昨年丸谷教授が研究室HPで公表を開始した「中小企業BCP導入ガイド」も教材として使用しました。

終了に当たり、本ワークショップの第2回目（来年2月8日開催予定）までの宿題として、各自組織におけるBCP簡易様式の作成に関して説明し、閉会しました。



講演（丸谷教授）



講演（佐々木助教）



会場の様子



グループ討議の様子1



グループ討議の様子2